



生きものの“つぶやき”:

「自分たちの土地に入るな」

エッセイ:

休日に森をサイクリングしていたときのこと。ふと木に目が留まり、よく見てみるととても大きなモリアオガエルを見つけました。今まで見た中でもトップクラスの大きさで、私の手のひらよりも大きいものでした。モリアオガエルは、なにかを訴えるようにこちらをじっと見つめており、その姿から「自分たちの土地に入るな」と言っているように感じました。モリアオガエルは現在、多くの県で県指定のレッドリストに登録されています。私が住んでいる静岡県では、2020年に準絶滅危惧種に指定されました。モリアオガエルの個体数の減少には、森に人の手が入り住処を奪われたことが理由にあげられます。県内でも少なくなっている状況の中でも、これほど大きいモリアオガエルに出会えたことを嬉しく思います。私は、このような生き物たちが過ごしやすい環境づくりに今後貢献していきたいと思いました。

(367字)

生きものの紹介：

モリアオガエル（アオガエル科アオガエル属）

日本固有種であり、本州と佐渡島に分布する。森林での樹上生活を行い、繁殖期以外はほとんど地上に降りることはない。繁殖期には、木に白い泡状の卵を産む。地域によっては天然記念物として登録されており、静岡県では準絶滅危惧種として指定されている（2020年）。

撮影場所・日時：

静岡県裾野市 2022年9月19日

応募者の自己紹介：

1. 田中公介／飛龍高等学校・3年
2. 所属：柔道部

審査員からのコメント：

人に住処を奪われているモリアオガエルの状況をうまく表現したつぶやき、自然保護を訴えるエッセイには説得力があります。こんな大きなモリアオガエルは見たことがありません。